

## アドミッション・ポリシー (入学受入方針)

3学科でそれぞれ、日本文化、英語圏の文化および日本の文化遺産に関する幅広い教養と専門的な知識を身に付けた、応用力のある思考と行動ができる人材を育成します。「自立協同」の建学精神に則り、教員と学生あるいは学生同士が議論を交わし、主体的に学びを深めようとする人を求めます。

- 学部の求める人物像
- (1) 感性に富み、問題意識を豊かにもつ、積極性のある人
  - (2) 目標をもち、継続的な努力ができる人



## 文化財学科

### 古い建築に潜む歴史や文化 読み解く面白さを伝えたい

2年 / 井上 良樹さん (香川県立香川中央高等学校 出身)

昔からお寺や神社を見て回るのが好きで、そのような関心を深められる学科があることを知り、入学。1年生で基礎的な知識を学んでから、建築・考古・地理・史料の4つの専門分野のうち興味のある分野を専攻していますが、社寺や民家などの建築を観察し、そこから建てられた時代や風土などの情報を得ていくといった課題が多く、自発的・能動的に学ぶ必要性を実感する日々です。先生との距離が近く、すぐそばで研究に向き合う姿勢を体得できるのは、一人ひとりに十分な時間をかけることのできる指導環境があるからこそ。将来は、大学で学んだことを糧に、生徒が歴史や文化に興味を持つきっかけになれるような教員になりたいです。



文化財学科HP



## 3つのポイント

1. 専門分野を追求できる多彩なカリキュラム
2. 自主的な学習と研究活動をバックアップ
3. 地域との連携による活動で実践力に富む人材育成



## 自分を成長させる良い経験

内定までの本学サポートについて  
3年次には就職セミナーが開かれ、就職活動に向けて準備をすることができました。内定獲得後も、就職支援部の方々にアドバイスをもらい、無事就職活動を終えることができました。

めざしている高校生に一言  
考古学・史料学・建築史学・地理学の専門分野があり、それぞれの分野で調査やフィールドワークがあります。この学科でしかできないことが、たくさんあると思います。色んなことに挑戦し、充実した大学生活を送ってください！



柿内 比菜乃さん (高知県出身)  
文学部 文化財学科  
内定先(勤務先) 黒潮町役場(高知県)

## 日本文学科

### 文学の面白さと奥深さに感動 卒業後は司書をめざします

2年 / 須藤 のぞみさん (香川県立高松商業高等学校 出身)

幼い頃から図書館に通い、高校時代は図書委員をしていました。ずっと本好きだった自分が日本文学科を選んだ理由は、古典の授業の面白さでした。昔の言葉を解釈するのは大変ですが、読む度に理解が深まり新しい発見があります。最近は近代文学にも興味を持ち、講義や発表をとおしてさまざまな解釈があることにわくわくしています。興味をかき立てられる環境の中で学ぶうちに、将来は司書になりたい、かつての自分のように図書館を訪れる生徒たちに、本の魅力をちゃんと伝えられる知識を持ちたいと思うようになりました。司書の仕事に就くことは、狭き門といわれていますが、司書の資格を取得するために日夜勉強を続けています。

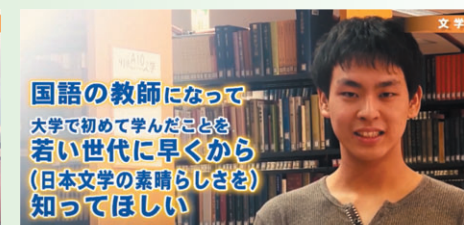


日本文学科HP



## 3つのポイント

1. 豊富な貴重書である原資料から学ぶ授業
2. 学生との信頼関係を重視する教育姿勢
3. 的確な思考と行動へ導く正確なことばの修得



## 大学生活を通して成長できました

内定までの本学サポートについて  
夏休みと春休みのSP1対策講座が印象に残っています。筆記試験対策や面接練習に加え、エントリーシートの書き方などを教わりました。他にも就職セミナーなどで就職活動に必要なスキルや知識を身につけることができました。

めざしている高校生に一言  
日本語コミュニケーションなどの様々な授業を通して書く力や話す力、聞く力など社会で必要となる基本的な能力を身につけることができ、就職においても活かすことができると思います。また、日本文学科は、本が好きなお客さんにはお勧めですよ!!



平田 京香さん (香川県出身)  
文学部 日本文学科  
内定先(勤務先) 小野株式会社(香川県)

## 英語英米文化学科

### 新時代の起業家に必要なスキルを見て触れて学べる環境です

3年 / 久本 勇斗さん (香川私立大手前高松高等学校 出身)

ビジネスオーナーになりたいという将来の夢を真剣に考えた時、英語は必要なスキルだと感じて入学しました。2年次にオーストラリアへと留学した当初の目的は語学力を養うためでしたが、何よりも勉強になったのは文化の違いです。自分の目で見えて触れることで、相手の文化を尊重したうえで互いに合わせる大切さを知りました。また、若くして起業する人も多いのでチャレンジする意欲がアップしました。今は英語のスピーキング力を深めながら夢に役立つ知識を深め、資格取得に向けても勉強中。この学科の講義の多くは一人ひとりに十分な時間をかけることのできる指導環境があるので、自分の信念を貫けます。ネイティブの先生との気軽に触れ合いながら、4年間じっくりと学べる環境はとても魅力的です。

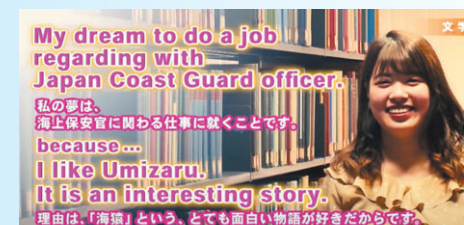


英語英米文化学科HP



## 3つのポイント

1. 徹底した実践的英語運用能力の育成
2. 英語に関する幅広い学びによる国際的教養
3. 学生と教員の信頼関係に基づく親身の指導



## 大学生活はあっという間でした

内定までの本学サポートについて  
就職支援部の方々には、3年次から就職セミナーや企業との交流会を開いてくれたり、就職活動開始に向けて準備の機会をたくさん設けていただきました。本格的に就職試験が始まってからは履歴書や自己PR文の作成などできめ細やかな指導をしていただきました。初めは不安でしたが、話を聞いてくれて何度も励ましてくれました。

めざしている高校生に一言  
英語英米文化学科の先生方はとても親身になってくれます。不安なことや分からないことがあればすぐに相談できる環境が整っています。また、学年を超えて縦の交流も多く、先輩と後輩の仲が良いのも本学科の特徴です。入学したら、同学年に限らず、先輩や先生方と交流してみてください。視野も広がり、学生生活をより充実させられると思います。



橋口 まいさん (高知県出身)  
文学部 英語英米文化学科  
内定先(勤務先) セキスイハイム 東四国株式会社(高知県)